

PHJ メールニュース 2011 年 7 月号
送信日時： 2011 年 7 月 19 日



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

女子サッカー・ワールドカップでなでしこジャパンの優勝に勇気づけられた週末でした。
皆様お元気ですか？

7 月 1 日に PHJ の FY2012 会計年度が始まりました。
メールニュース 2011 年 7 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ
運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を
支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 7 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 新寄付税が施行されました
- 1-2. HOPE ニュース 57 号、PHJ News 57 を発行しました
- 1-3. 「東日本大震災」支援－被災地からの声
- 1-4. チャリティーカレンダーの申込みを始めました
- 1-5. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. ベトナム乳がん予防教育
- 2-2. タイのドナー訪問
- 2-3. 子宮頸がん、乳がん予防推進事業

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区
- 3-3. 口腔衛生事業 — バリ州東バリ地区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. カンボジア事務所 所長代行が決まりました

- 4-2. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 - コンポントム州
 - 4-3. 母子保健、助産師トレーニング - プレイベン州
 - 4-4. 「安全なお産」、あと 50 人分の支援を
-

1. PHJ 本部のニュース

1-1. 新寄付税が施行されました

2011 年 6 月 22 日に国会を通過・成立し、6 月 30 日に施行された新寄付税制により、認定 NPO 法人に対して行った寄付は 2011 年 1 月 1 日に遡り次の税制優遇の対象となります。

個人が行った場合：以下の税額控除（従来は所得控除）が適用されます。

税額控除額 = (寄附金 - 2,000 円) × { 40% (国税) + 10% (地方税) }

なお地方税は寄付者住所の条例によります。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/tax_deduction.html

1-2. HOPE ニュース 57 号、PHJ News 57 を発行しました

7 月 1 日にホープジャパンニュース 2011 年夏季号と PHJ News57 を発行しました。今回は東日本大震災支援のこれまでを 2 ページにわたり紹介いたしました。カンボジアの活動報告もご覧ください。五月女理事のコラム Vo13 は幕末から明治にかけて日本の夜明けに貢献したペリー総督、アーネスト・サトウを思い、アジア、アフリカで地域の発展に貢献している日本の NGO や青年海外協力隊についての考察です。

<http://www.ph-japan.org/about/newsletter/newsletter.html>

http://www.ph-japan.org/en/about/phj_news.html

1-3. 「東日本大震災」支援 - 被災地からの声

PHJ は復興支援の一端としてパソコン 300 台、プリンター 100 台を被災地の医療施設 102 か所に配布しました。被災地の盛岡つなぎ病院院長からお礼のメッセージが届きました。災害支援活動ブログをご覧ください。http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/
PC、プリンターを提供して下さった日本ヒューレット・パッカー社は 7 月 11 日のプレスリリースで寄贈の内容を発表いたしました。

<http://www8.hp.com/jp/ja/hp-news/newsroom.html>

1-4. チャリティーカレンダーの申込みを開始しました

PHJ は支援地域の子供達が描いた絵を掲載したチャリティーカレンダーを作成してまいりました。今年も支援先であるタイ、インドネシア、カンボジア、と PHJ 事務所がある武蔵野市の小学校児童におとぎ話をテーマに絵を描いてもらい、これらの絵を掲載した「アジアのお話カレンダー」を作成いたします。申込みを 7 月 11 日に開始しました。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_03

1-5. スタッフブログ

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2. PHJ タイ事務所のニュース

PHJ 東京でタイ、ベトナムを担当している蓮見が 6 月末から 7 月にかけて出張し、タイ事務所所長とともに、ベトナムのテスト事業関係先、ご支援を頂いているタイ企業や外務省補助金の対象事業に関連する病院や総領事館を訪問しました。

2-1. ベトナム乳がん予防教育

2011 年 1 月にテストプログラムとしてスタートした乳がん予防教育はハノイでベトナム赤十字傘下の団体、CASCD(老人の QOL 向上を目指した活動を主眼としている現地 NPO) と提携して実施しています。この事業の医療支援行っている 国立がん (K) 病院の副院長、乳がんクラブのマネージャーである医師を訪問し、現地ニーズを把握し次の事業への展開を検討しました。

2-2. タイのドナー訪問

タイで実施している先天性心臓病手術支援、HOPE パートナー教育、HIV・AIDS 予防教育の分野でご支援を頂いている企業 4 社を訪問し、FY2012 にもご協力をいただけることになりました。

http://www.ph-japan.org/program/Thailand/support_pediatric_disease.html

http://www.ph-japan.org/program/Thailand/support_hiv_prevention.html

http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope_partner.html

2-3. 子宮頸がん、乳がん予防教育事業

外務省補助金対象事業の子宮頸がん・乳がん予防教育 (CC/BC) について、事業推進地域の病院を訪問しました

サンカンペーン病院：今回のサンカンペーン郡の CC/BC の基幹病院、30 床、医師 5 名、看護師 60 名、総勢 211 スタッフで人口 7 万人をカバーしています

サラピー病院：今回のサラピー郡の CC/BC の基幹病院。30 床、医師 6 名、歯科医 4 名、看護師 61 名、総勢 206 スタッフで人口 8 万人をカバーしています。

双方の院長とも、外務省補助金対象事業に熱心で、ミニバスのおかげで検診率が上がっていると喜んでいました。日本では考えられないことですが、二人の院長が一つのプロジェクトに協力しています。

総領事館訪問：柴田総領事より「現場でのプロジェクトの進捗、印象」について質問を

うけました。対象地域の基幹病院の院長が協同でプロジェクトに取り組んでいること、ミニバス効果で検診率が上がっていることを報告しました。総領事もCC/BCプロジェクトに大変興味を持っておられ、中間報告を心待ちにしているとのことでした。

http://www.ph-japan.org/program/Thailand/support_woman_disease_prevention.html

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 保健改善、母子健康改善活動 — テイルタヤサ自治区

6月の保健改善プロモーションは5村で「下痢と肺炎」のテーマで実施し、参加者は188人でした。「下痢」の主な原因は不衛生な生活ですが、中には牛乳や粉ミルクが体質にあわないこともあると説明し、心配な場合は診療所で受診するよう指導しました。「肺炎」に関しては通気性が悪く、湿度の高い住居が関係があると考えられています。子供が息苦しさを訴えたり、頻繁に痰を詰まらせたりする場合は、診療所で受診するよう指導しました。

6月の母子保健教育は「離乳」のテーマで行い、219名の妊婦を含み335名が参加しました。生後6か月までは母乳のみで育てることが推奨されているが、急に離乳するのではなく約6か月をかけて母乳を減らし、離乳食を増やして完全に離乳するよう強調しました。

3つの村で妊婦のヘモグロビン測定を実施したところ、妊婦の貧血の目安となる数値11g/dlを下回った割合は90%を超えていました。この検査で「鉄欠乏性貧血」か「葉酸欠乏貧血」であるか判断はつけないもの、多くの妊婦が鉄錠剤を使用していることを考えると、後者の可能性が高いようです。

http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG_Community.html

3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区、トウンダ島

4村で6月に実施したメニューコンテストのメニューを基にし、栄養教育・調理実習を継続しました。「魚」は栄養価がたかいものの、寄生虫がわくなどの迷信を信じる母親が多い。寄生虫は不潔な手で食事をしたり、はだしで外を歩いたり、野菜をきちんと洗っていないなどの様々な原因により発生することを説明しました。メニュー考案の理由やメニューの栄養素などが教育テーマでした。参加者は243名(幼児をふくむ)でした。

トウンダ島でも「幼児の栄養」「魚のメニュー2品」で栄養教育と調理実習を行いました。メニューは4月に実施したコンテストで入賞した「カッサバコロッケ」「魚と豆腐のスープ」を選びました。両メニューとも動物性・植物性タンパク質を含み栄養バランスがよく、魚が豊富なトウンダ島にふさわしいのに、魚は体に良くないという迷信がある。試食後は好評でした。

3-3. 口腔衛生事業 –バリ州東バリ地区

インドネシア歯科医師会東バリ支部を対象とした歯科セミナーを、6月18日に実施しました。講義に60名、実習30名が参加しました。インドネシア大学歯学部教授、小児矯正専門医のヘリアンデイ・スタデイ氏が講師となり、好評のセミナーとなりました。

http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG_Dental.html

.....

4. PHJカンボジア事務所のニュース

4-1. カンボジア事務所 所長代行が決まりました

2007年からカンボジア事務所の所長を務めていた中田好美が公衆衛生を学ぶため9月末から英国ロンドン大学院へ留学いたします。1年休職を取ることにになり、後任の所長を募集しておりました。選考の結果、久米由美子がカンボジア事務所代表代行として、7月11日から働くこととなりました。看護師として約10年の経験、海外でのインターン等の経験もある方です。カンボジア担当の石関の指導の下で東京事務所での研修後、中田との引継ぎのために7月末にカンボジアに赴任いたします。

4-2. 保健センター運営向上、村とのネットワーク向上 – コンポントム州

昨年12月で終了した3年間の事業の評価を共有するセミナーを5月10日に開催しました。州保健局、行政自治区、保健センター、村のヘルスボランティア、日本大使館の担当者、PHJ東京のカンボジア担当が出席しました。次期新規事業についても、外務省に申請し、6月22日外務省での案件選定会議で採択が決まり、7月14日に現地日本大使館で署名式の運びとなりました。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/babyhealth.html>

4-3. 母子保健、助産師トレーニング – プレイベン州

4月に終了した州病院での4週間のトレーニング(2名)のフォローアップを5月に保健センターで実施しました。州保健局の要請を受け、この8月からプレイベン州のブレアスダット地区で助産師トレーニングを開始する予定です。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/midwife.html>

4-4. 「安全なお産」、あと50人分の支援を

2010年春から始まった「安全なお産」支援募金。みなさまからの支援により保健センターでの妊婦健診・分娩奨励キットを4つの保健センターに配布。4月までに累計で妊婦検診キット500、分娩奨励キット500を妊産婦に贈ることができました。7月にはある製薬会社から、また別の製薬会社のイントラネットでPHJの活動を知った社員の方、聖マリアンナ

医科大学病院超音波センターの有志の方々が「安全なお産」に寄付をしてくださいました。また他の企業の社員の方からもボーナスがでたからとのご寄付も頂きました。あと妊婦検診・分娩奨励キッ 50 人分の支援が足りません。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02

■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。 <http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2011 年 7 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

メールニュースのバックナンバーは PHJ ホームページでご覧になれます。
<http://www.ph-japan.org/about/mailnews/index.html>

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン
